




3歳児クラス 4月 第2回 「ぼく、だんごむし」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「今日、花壇のお花にお水あげてたらいいものを見つけちゃった」とダンゴ虫(ペープサート)提示。「触ってみて」と誘い掛ける。 講: 恐る恐る触ってみせる。 保: 瞬間くるとひっくり返して丸まったダンゴ虫に変化させる。 講: その習性の面白さに興味を持たせてからお話を始める。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート(ダンゴ虫両面) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①身近にいるダンゴ虫の生態の面白さが伝わる様に読む。 ②子ども達の反応を見ながら読み進め、特に興味を持った場面ではじっくり見せられると良い。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴ虫提示 ・子ども達と一緒にその習性の面白さを楽しみながら見る 	

がくしゅうタイム

活動①	記憶	お話に出てきたダンゴ虫のいそうな場所を思い出してダンゴ虫シールを貼ることができる	
設問	ダンゴ虫はどこに住んでいましたか? ダンゴ虫の好きな場所を思い出してダンゴ虫を帰してあげましょう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講: 「なになに?」封筒の中を覗き「ダンゴ虫さんからクイズが届いたよ! クイズやりたい人?」と意欲を高め、元気よく挙手をさせてプリントを配布。 子ども達と一緒にプリント確認。「なになに…『僕たちダンゴ虫の好きな場所を思い出して迷子のダンゴ虫を帰してあげてください』だって」とダンゴ虫シール提示。 「たくさんのダンゴ虫さんが困ってるんだって! 助けてあげよう! ダンゴ虫さんの好きなところはどこだった?」子ども達と一緒にプリントを見ながらダンゴ虫の好きな場所を指さし確認。講師はシールを貼る見本行動を見せる。 ※必要に応じて絵本で確認しても良い。(コンクリート、植木鉢の下、池の石、枯葉の下、水の中も泳げるなど確認) 保: 「まだまだこんな」と配布シール提示。子ども達に配布する。 子: ダンゴ虫に愛着を持ってプリントに貼っていく。 ※正しい場所に貼れることがねらいですが、子どもなりのストーリー(「お散歩してるの」など)も受け止めてあげて良い ※複数枚あるので「仲間と一緒に好きなんだよね」と仲良く貼っていくのもよしとする。 講: 状況を見て「ダンゴ虫さん、お家に帰れて良かったね。みんなもまた外で見つけてみようね!」と称賛。「またねー。ばいばい」とプリント回収し活動②へ進む。 	教材	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの入った封筒提示。 ・プリント配布。 ・シール提示 ・シール配布 ・子ども達との会話を通して理解を深めさせる ・称賛 ・プリント回収
活動②	制作	作り方の指示を理解してダンゴ虫を作ることができる	
設問	ダンゴ虫を作って遊みましょう		※実物参照
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保「見て! かわいいダンゴ虫作っちゃったー」と完成品を持って嬉しそうに登場。 講: 「いいなー! 見せて!」 保: 「いいよ。どうぞ」と講師に渡す。 講: 形や触るとゆらゆら揺れる動きの面白さを見せる。「私も欲しいなー」 保: 「先生も自分で作ったら?」と材料の黒丸台紙と目のシールを渡す。 	教材	<ul style="list-style-type: none"> 黒丸台紙 1人1枚 目シール 1人2枚 持ち帰り用ビニール袋 ★クレヨン ※提示用として台紙を半分に折り、裏表に目を貼り

<ul style="list-style-type: none"> 講：材料を受け取りそれぞれの形の違いを確認しながら作る見本行動。 ①台紙を半分に折り、「アイロン」折り目をつける。 ②目のシールを裏表1枚ずつ同じ位置（裏表、頭とお尻離れない様に注意）になるように注意して貼る。 完成したダンゴ虫を楽しげに動かす。「みんなも作りたい？」子どもの意欲を引き出してから活動に参加させる。 保：材料配布。 子：見本同様に制作開始。 ※折り目が大きくずれると立たないので「転んじゃうねー」と言いながら補助し折り直すと良い。 ※目の位置などは多少のズレは貼り直さず見守る。 講：形ができた子からクレヨンで体の縦縞模様を描かせる。（色はこだわらず好きな色で良い。ただし黒以外の見える色を意識させる） 子：出来上がった子から、ダンゴ虫の気持ちになり動かして楽しむ。 ※クラスの人数や状況に応じては散歩や、あらかじめ新聞紙を床に敷いておいてその下にもぐらせたりなど動きのある活動を取り入れても盛り上がる。 講：状況を見て完成を称賛し「今日はみんなの家に連れて行ってあげましょう」とビニール袋配布。達成感と期待感を持って終了する。 	<p>白いクレヨンで縦模様を描いて完成したものを準備する。</p> <p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成したダンゴ虫の提示 材料提示 材料配布 必要に応じて制作補助 (机から離れた活動の場合)安全への配慮 称賛 ビニール袋配布
---	---

※数チャレは5月よりスタートします。

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	活動①を意識した読み方が出来たか
活動①記憶	子ども達が楽しく思い出せるように促すことが出来たか
活動②制作	「作りたい」という気持ちを引き出せる提示が出来たか 制作指示(見本)をしっかり行えたか
数チャレ	4月実施なし

楽習タイム♪

*** テーマ ・ 観察 ***

だんごむしの見つけっこ

だんごむし
みつけた！



だんごむしの見つけ方

※絵本に書いてあったダンゴ虫の好きなものや場所は…

- 植木鉢の下
- 暗い夜
- 新聞紙
- 段ボール
- 枯れた植物
- 死んだ虫
- 食べ物のかす
- 石
- コンクリート 等々

お庭や公園で実際にダンゴ虫を見つけて
じっくり観察してみましよう♪



楽習タイム
の動画は
こちら

